

記者発表資料
令和3年1月5日

担当	大垣市都市計画部都市計画課 課長：真鍋 主幹：不破
連絡先	Tel.0584-47-8694（直通）

トリックアートを活用したまちづくりについて

1 目的・趣旨

居心地の良い空間と賑わいの創出を目指す「歩くまち大垣」を推進していく一環として、トリックアート(錯視)を利用した絵画や標識等について、まちなかへの導入を検討するにあたり、実証実験を行います。

また、作品の制作や企画等についても、大学・高校やNPO法人・企業等との連携のあり方を検討していきます。

2 トリックアートとは

遠近法・陰影法・色・照明の組合せに加え、透明度の高い絵の具の塗り重ね等で、光の屈折や反射を利用し、二次元のものを三次元的に描き表す不思議で楽しめるアートです。

- ・ 平面のものが立体的に見える作品
- ・ 観る角度により印象が変化する作品

3 特徴・効果

- ・ 壁面や路面等を空間的に活用が可能。
- ・ 目を引く案内等の誘導性の向上など機能的な効果が期待できる。
- ・ 単に見るだけでなく、遊べて楽しめる体験型アート作品。
- ・ SNSによる情報発信など話題を提供できるため、まちの魅力向上や活性化への波及が期待できる。

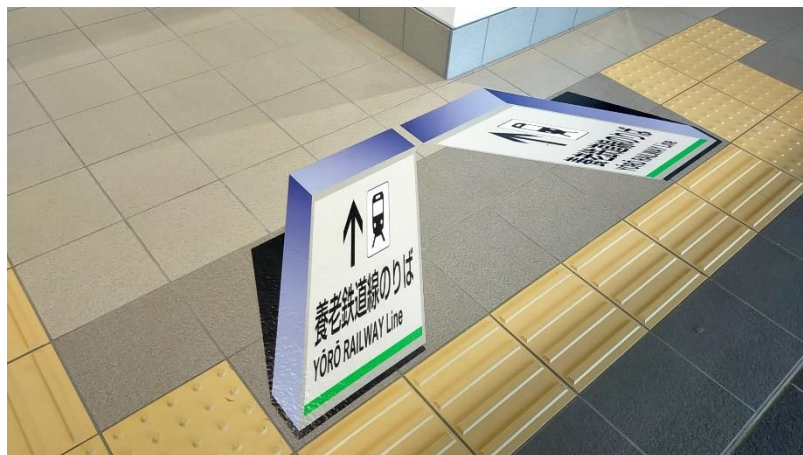
4 実証実験の概要

庁舎内にトリックアートを展示するスペースを設け、来庁者や職員の意見を踏まえながらその効果を検証します。また、作品の企画・制作における大学等との連携についても、検討していきます。

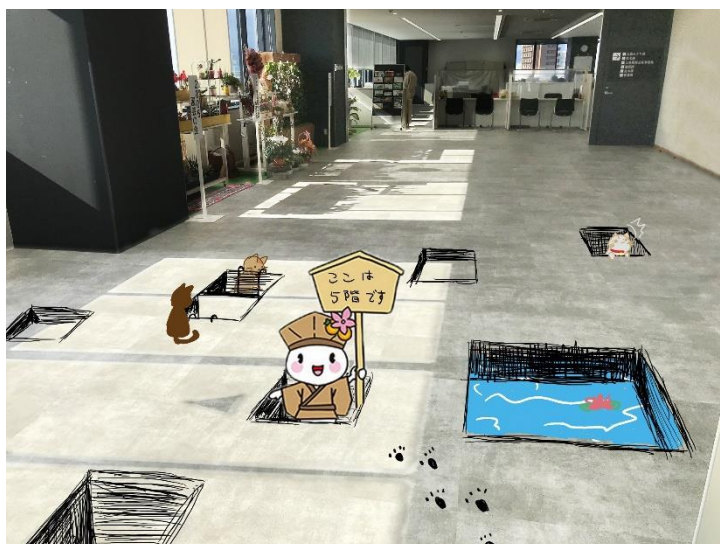
- (1) 実施箇所 市庁舎
- (2) 実施期間 令和3年2～3月
- (3) デザイン協力 大垣女子短期大学（デザイン美術学科2年生）

(4) 作品イメージ

案内・誘導サイン



フォトジェニックスポット



※ヴィジョンネクスト情報デザイン専門学校、岐阜女子短期大学や高校美術クラブ等との実証実験の拡大を検討中。

5 今後の展開

導入場所及び表示内容の研究

- (1) フォトジェニックスポットの整備：公園、路面、建物壁面、シャッターなど
- (2) 案内・誘導サインの整備：公共施設内、路面など
- (3) 交通安全表示：路面など
- (4) トリックアート展の開催など